

# 大五建設社内報

令和5年7月24日発行

～第110号～

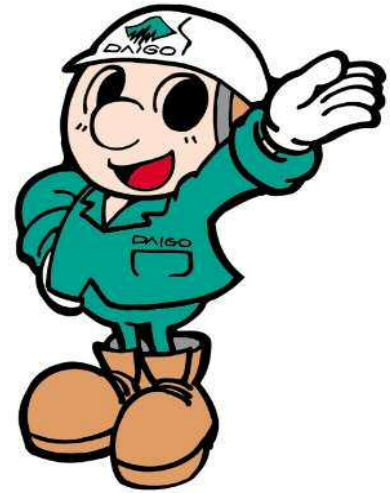
編集：イメージアップ委員会

## ＜大五郎誕生秘話＞

話は24年以上前にさかのぼります。大五建設でリフォームのチラシを作るとい話があり、その時に何か話のタネになりそうな写真や絵が欲しいということになったそうです。その時に「かゆいところに手が届く」という大五建設のコンセプトから小人の靴屋（知らない間に靴を直し、陰ながら尽くす）をイメージしたそうです。

この発想が元となり大五郎が誕生しました。「大五郎」という名前は公募で決まったそうです。候補には「建太郎」、「建（たけし）」などあったそうですが、最終的には「大五郎」に決まったそうです。

(越田)



## ＜網戸フェア＞

7月8日に網戸フェアを開催いたしました。たくさんのお客様にご来場いただき、合計150枚の網戸を張らせていただきました。みなさん大変お疲れ様でした。小林清孝さん、ビツクさん、津金さんにも暑い中、一日ご協力いただき、無事終わることができました。来年は、さらに良い網戸フェアにできるよう、みなさん頑張りましょう。

(越田)



## ＜手すりの見本＞

先日、手すりの見本を作成をしました。手すりを取り付ける際に高さがイメージしにくいとこのことで、作成しました。今回作った見本を使用することで、お客様がイメージしやすくなるかと思えます。

(清水)



## ＜現代の管理学＞

高田課長が社員教育研究所の「現代の管理学」研修に参加されました。研修に参加するのは5年ぶりとのことで、新鮮な気持ちで受講できたそうです。また、管理者としての任務を改めて考えさせられ、これから自分を成長させ、部門を強化し、会社に貢献していきたいとおっしゃっていました。責任ある仕事ができるよう高田課長を見習って行きたいと思えます。

(安藤金)



### <バレーボール大会>

先日、長女(小3)と次女(小1)がやっているバレーボールの大会の応援に行きました。10歳以下の小さい子が出られる大会で、2人とも選手として出場しました。

次女は大会初出場だったので、親の方が緊張しました。監督やチームメイトのおかげで優勝することができ、練習の成果もしっかり出せて、子供達もとても喜んでいました。これからも、子供の成長を楽しみにしていきたいです。

(越田)



### <足場の特別教育>

6月26日に足場の特別教育がありました。リモートでの開催で、受講者のうち何名かは会社にも集まり、受講していただきました。

足場の資格は脚立足場を組み立てるのにも必要となります。大工さんやクロス屋さんには脚立足場を使用する機会が多いのです。正しく安全に使うためにも、とても良い機会だったと思います。

(浅川)



### <交通安全講話>

7月6日に交通安全講話が行われました。今年は何年ぶりに富岡警察署の交通課の方にご講演をいただきました。

講演の中で「~だろう運転」ではなく、「~かもしれない運転」をしてほしいとの話がありました。例えば、この曲がり角から人が出てくるかもしれないから徐行しようといった考え方です。この考え方は車を運転する上でとても重要なので、仕事、プライベートで運転する時は、「~かもしれない運転」を意識しましょう。

(清水)



### <大五建設安全衛生協力会総会>

6月8日に大五建設安全衛生協力会の総会が行われました。協力会は発足後、コロナ禍になってしまい、活動がほとんどできませんでした。そのため、今回が初めての総会となりました。

コロナの規制も緩和されてきて、今年は活動を再開していくそうです。協力会との交流を深め、より良い現場づくりをしていきましょう。

(越田)



### <テレホンカード>

先日、お客様にとっても貴重なテレホンカードを見せていただきました。それは昭和天皇陛下が崩御された1989年1月7日八王子武蔵野陵参拝記念のテレホンカードでした。テレホンカード自体、とても懐かしく思いました。

ちなみに希少なものと芸能人のものは高い価格で売買されています。テレホンカード界で最も高額なのは、森高千里さんの物で、520,000円という価格で落札されたことがあるようです。

(安藤金)

